

特別展

志村ふくみ 百一寿 — 夢の浮橋 —

Shimura Fukumi : 101-year Journey Devoted to Dyeing and Weaving — The Floating Bridge of Dreams



2026年 3月3日|火| ~ 5月31日|日|

[前期] 3月3日|火| ~ 4月12日|日| [後期] 4月14日|火| ~ 5月31日|日|

開館時間 | 午前10時 ~ 午後5時 休館日 | 毎週月曜日(ただし、5月4日は開館)、5月7日(木)

主催 | 細見美術館 京都新聞 後援 | 京都市内博物館施設連絡協議会

協力 | 都機工房 アトリエシムラ 監修 | 志村ふくみ 志村洋子

会場 | 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

HOSOMI MUSEUM



志村ふくみ (1924～)

滋賀県生まれ。染織家、随筆家。
31歳のとき母・小野豊の指導で植物染料と紬糸による織物を始める。重要無形文化財保持者(人間国宝)、文化功労者、第30回京都賞(思想・芸術部門)受賞、文化勲章受章。京都市名誉市民。
著書に『「色一生」(大佛次郎賞)、『語りかける花』(日本エッセイスト・クラブ賞)、『ちよう、はたり』など多数。作品集に『織と文』、『篝火』、『つむぎおり』など。

紬織の重要無形文化財保持者であり、随筆家としても知られる志村ふくみ。自然から限らない色彩を抜き出し、経糸と緯糸の交わりによって深く果てしない世界を表現する稀有の染織作家です。2025年秋に101歳を迎えた現在も、美しいものを手に取りながら穏やかな日々を過ごし、心をゆさぶる自然や色彩への深いまなざしを持ち続けています。

本展では『源氏物語』や『紫』、そして作家、石牟礼道子原作の創作能『沖宮』の装束など近年の特徴的なテーマを中心に、作品と綴られた言葉によって、色彩、生命、自然への尽きることのない思索と、未来へ語り伝える想いを紹介します。本展を機に構想・制作された作品2領を初公開。作家の永く実り豊かな歩みを称え、言祝ぐ展覧会です。

人間国宝 志村ふくみの70年にわたる表現の軌跡をたどる

関連イベント

第51回 アートキューブレクチャー **事前申込制・有料**

「うつろいゆく紫の物語」

日時：2026年5月10日(日) 午後2時～3時30分

講師：志村洋子氏(染織作家・随筆家)

会場：京都市勤業館みやこめッセ 大会議室

*詳細・申込方法はWEBサイトをご覧ください。

一般 2,000円(前売券 1,800円) 学生 1,500円

[販売窓口] 細見美術館(当日券のみ)、ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、CNプレイガイド

- 前売券は3月2日(月)までプレイガイドで販売。
- プレイガイドによって手数料が発生する場合があります。

◎ お得な前売ペアチケット(2枚1組) 3,400円

一般2枚組のお得なチケット。1枚ずつでもご利用いただけます。

販売期間：3月2日(月)まで

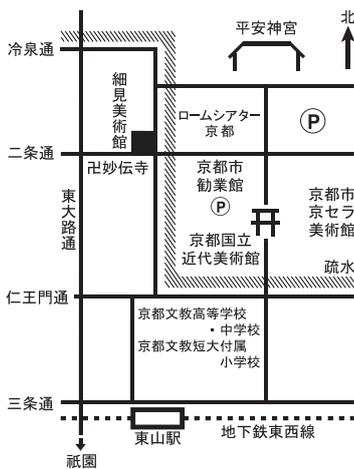
販売窓口：ローソンチケット、イープラス

チケット情報

きもの割

会期中、きもの姿でご来館いただくと200円引きでご覧いただけます。

*詳細はWEBサイトをご覧ください。



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。



1



2

1 《朧月夜》 2025年 **初公開**
志村ふくみ監修 制作 都機工房
絹糸・金糸/紫根、藍、臭木【通期展示】

2 《若紫》 2007年
絹糸/紫根、茜【前期展示】

3 舞衣《紅扇》 2021年
志村ふくみ監修 制作 都機工房
絹糸/紅花、藍、刈安、臭木、紫根【前期展示】

4 《風露》 2000年
絹糸/紅花、藍、刈安、紫根【後期展示】

5 《月の湖》 1985年
絹糸/藍、玉葱【前期展示】



3



4



5

細見美術館



これからの展覧会

水の情景、涼へのいぎない

会期：2026年6月13日(土)～8月2日(日)

うつろいゆく色の物語